

## 人口減少等に関する意識についてのアンケート結果

県では、国の総合戦略の策定を受け、地方版総合戦略である「人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略」の改定を検討しています。

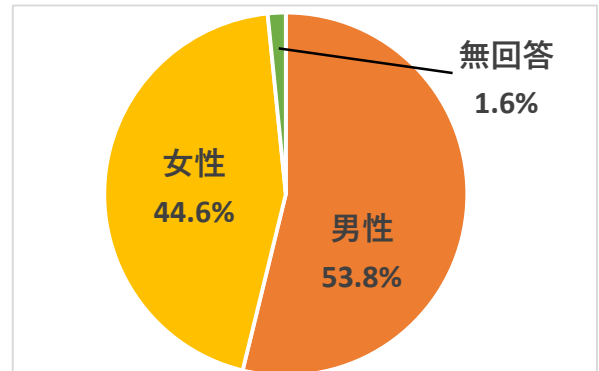
人口減少等に関する皆様の意識等を把握し、総合戦略改定やこれに基づく施策推進の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

- ★ 調査時期:令和5年6月
  - ★ 対象者:県政モニター297人
  - ★ 回答数:249人(回答率83.8%)
  - ★ 担当課:総合企画部 企画調整課
- (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

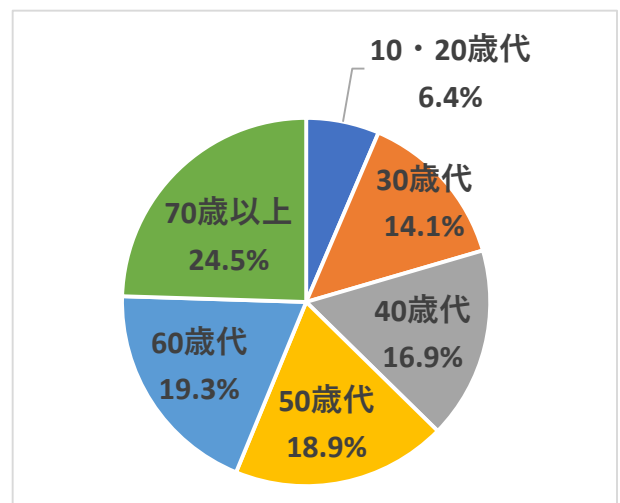
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
1.男性	134	53.8
2.女性	111	44.6
3.無回答	4	1.6
合計	249	100.0



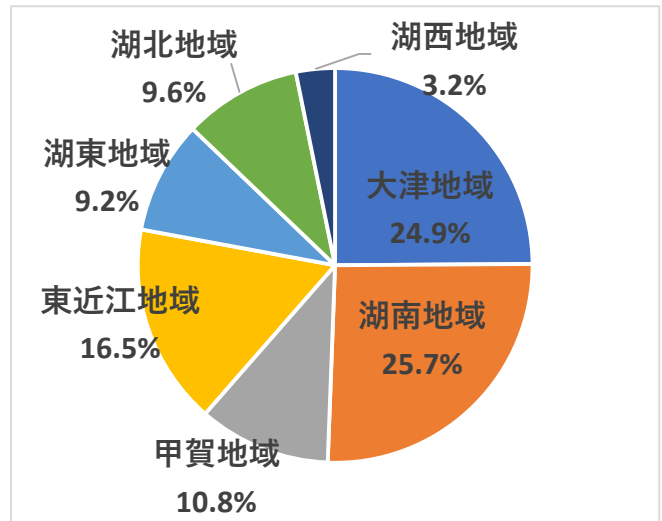
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
1.10~20歳代	16	6.4
2.30歳代	35	14.1
3.40歳代	42	16.9
4.50歳代	47	18.9
5.60歳代	48	19.3
6.70歳以上	61	24.5
合計	249	100.0



◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
1.大津地域	62	24.9
2.湖南地域	64	25.7
3.甲賀地域	27	10.8
4.東近江地域	41	16.5
5.湖東地域	23	9.2
6.湖北地域	24	9.6
7.湖西地域	8	3.2
合計	249	100.0

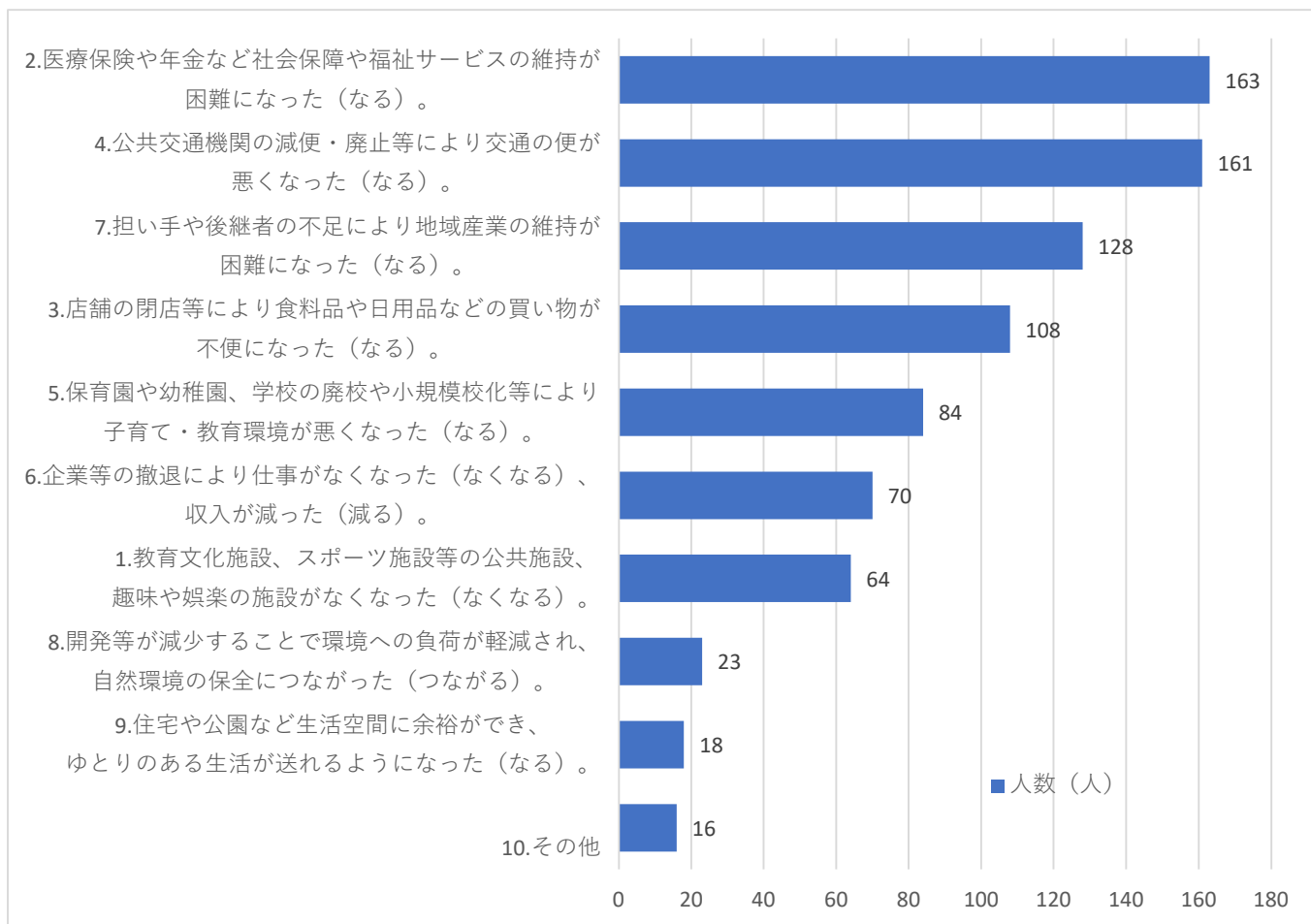


問1 【人口減少に関する意識】

滋賀県の人口減少に関して現在影響を感じていること、また、今後更に人口減少が進んだ場合に影響が大きくなると思われることを選択してください。

(回答チェックはいくつでも。n=249)

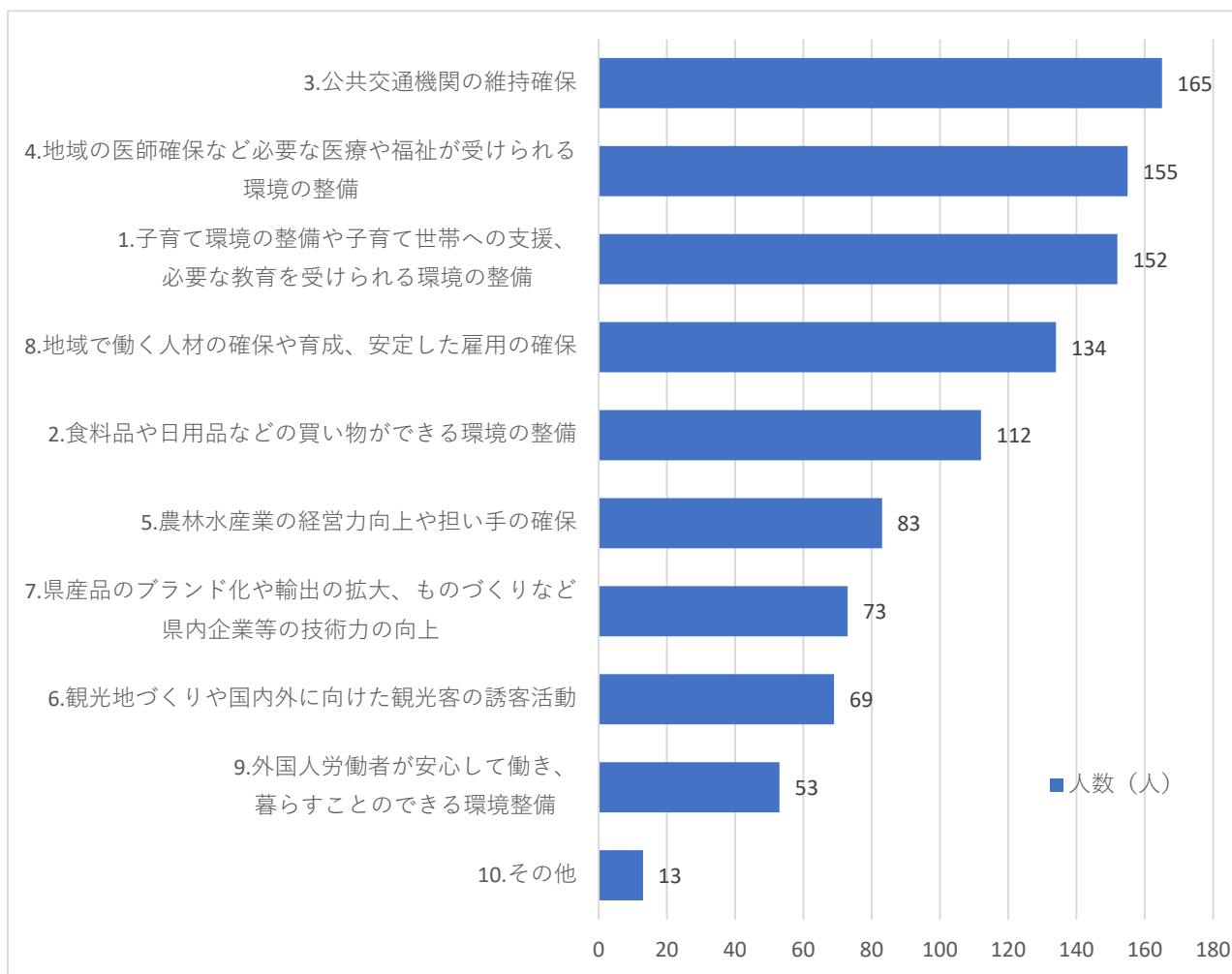
項目	人数(人)	割合(%)
1.教育文化施設、スポーツ施設等の公共施設、趣味や娯楽の施設がなくなった(なくなる)。	64	25.7%
2.医療保険や年金など社会保障や福祉サービスの維持が困難になった(なる)。	163	65.5%
3.店舗の閉店等により食料品や日用品などの買い物が不便になった(なる)。	108	43.4%
4.公共交通機関の減便・廃止等により交通の便が悪くなった(なる)。	161	64.7%
5.保育園や幼稚園、学校の廃校や小規模校化等により子育て・教育環境が悪くなった(なる)。	84	33.7%
6.企業等の撤退により仕事が無くなった(なくなる)、収入が減った(減る)。	70	28.1%
7.担い手や後継者の不足により地域産業の維持が困難になった(なる)。	128	51.4%
8.開発等が減少することで環境への負荷が軽減され、自然環境の保全につながった(つながる)。	23	9.2%
9.住宅や公園など生活空間に余裕ができ、ゆとりのある生活が送れるようになった(なる)。	18	7.2%
10.その他	16	6.4%



問2 【人口減少に関する意識】

人口が減少しても幸せが続く滋賀を実現するため、今後、特にどのような取組が重要だと思いますか。  
 (回答チェックはいくつでも。n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1.子育て環境の整備や子育て世帯への支援、必要な教育を受けられる環境の整備	152	61.0%
2.食料品や日用品などの買い物ができる環境の整備	112	45.0%
3.公共交通機関の維持確保	165	66.3%
4.地域の医師確保など必要な医療や福祉が受けられる環境の整備	155	62.2%
5.農林水産業の経営力向上や担い手の確保	83	33.3%
6.観光地づくりや国内外に向けた観光客の誘客活動	69	27.7%
7.県産品のブランド化や輸出の拡大、ものづくりなど県内企業等の技術力の向上	73	29.3%
8.地域で働く人材の確保や育成、安定した雇用の確保	134	53.8%
9.外国人労働者が安心して働き、暮らすことのできる環境整備	53	21.3%
10.その他	13	5.2%

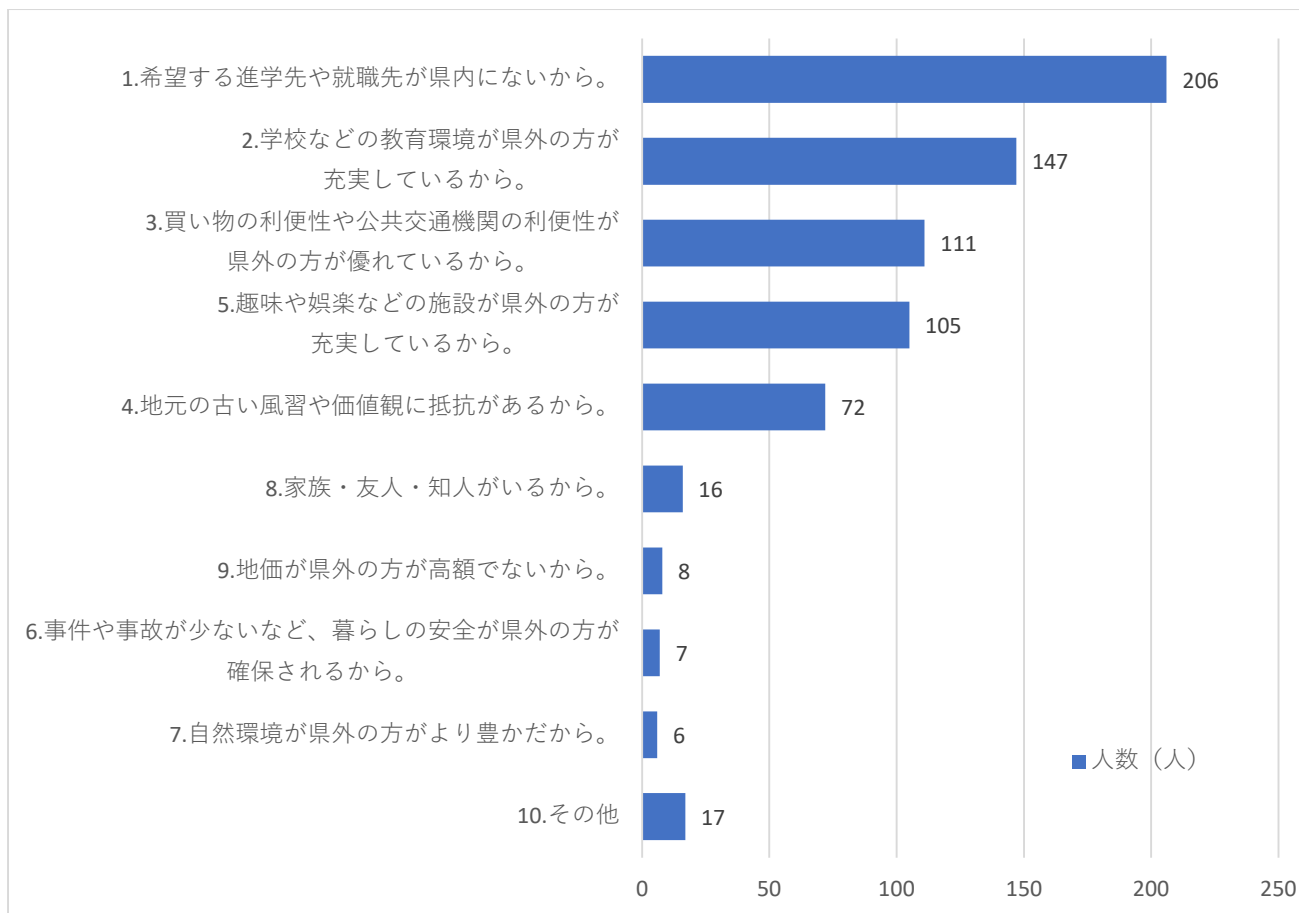


### 問3 【居住地に関する意識】

滋賀県では、特に「20代前半」の世代において転出超過(県内への転入より県外への転出が多い)傾向が見られますが、その原因として考えられることを選択してください。

(回答チェックはいくつでも。n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1.希望する進学先や就職先が県内にないから。	206	82.7%
2.学校などの教育環境が県外の方が充実しているから。	147	59.0%
3.買い物の利便性や公共交通機関の利便性が県外の方が優れているから。	111	44.6%
4.地元の古い風習や価値観に抵抗があるから。	72	28.9%
5.趣味や娯楽などの施設が県外の方が充実しているから。	105	42.2%
6.事件や事故が少ないなど、暮らしの安全が県外の方が確保されるから。	7	2.8%
7.自然環境が県外の方がより豊かだから。	6	2.4%
8.家族・友人・知人がいるから。	16	6.4%
9.地価が県外の方が高額でないから。	8	3.2%
10.その他	17	6.8%



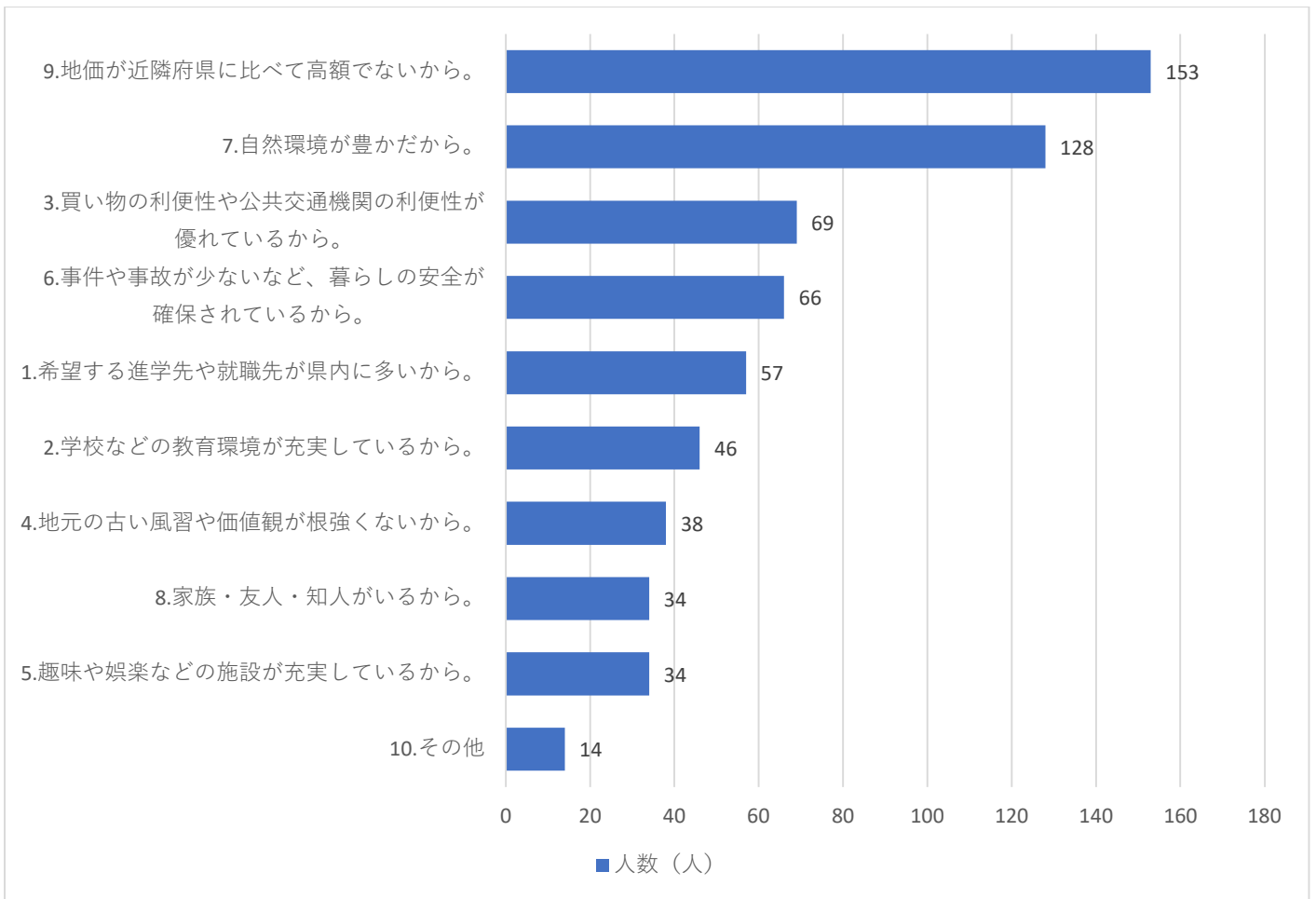
#### 問4 【居住地に関する意識】

滋賀県では、「30代」の世代において転入超過(県外への転出より県内への転入が多い)傾向が見られますが、その原因として考えられることを選択してください。

(回答チェックはいくつでも。n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1.希望する進学先や就職先が県内に多いから。	57	22.9%
2.学校などの教育環境が充実しているから。	46	18.5%
3.買い物の利便性や公共交通機関の利便性が優れているから。	69	27.7%
4.地元の古い風習や価値観が根強くないから。	38	15.3%
5.趣味や娯楽などの施設が充実しているから。	34	13.7%
6.事件や事故が少ないなど、暮らしの安全が確保されているから。	66	26.5%
7.自然環境が豊かだから。	128	51.4%
8.家族・友人・知人がいるから。	34	13.7%
9.地価が近隣府県に比べて高額でないから。	153	61.4%
10.その他	14	5.6%



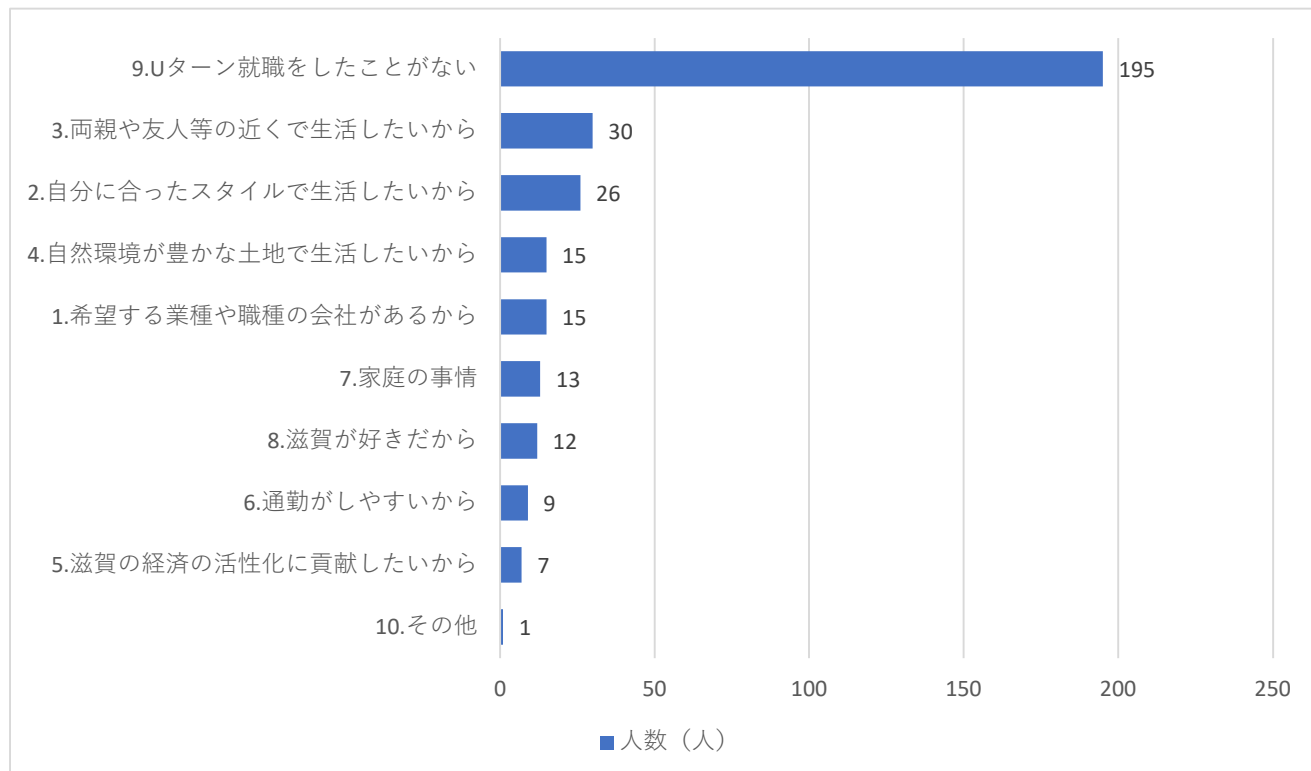


問5 【Uターン就職に関する意識】

県内企業にUターン就職をした経験がある方は、滋賀県にUターン就職した理由を選択してください。経験がない方は、「9. Uターン就職をしたことがない」を選択してください。

(「9」を選択した場合以外、回答チェックはいくつでも。n=249)

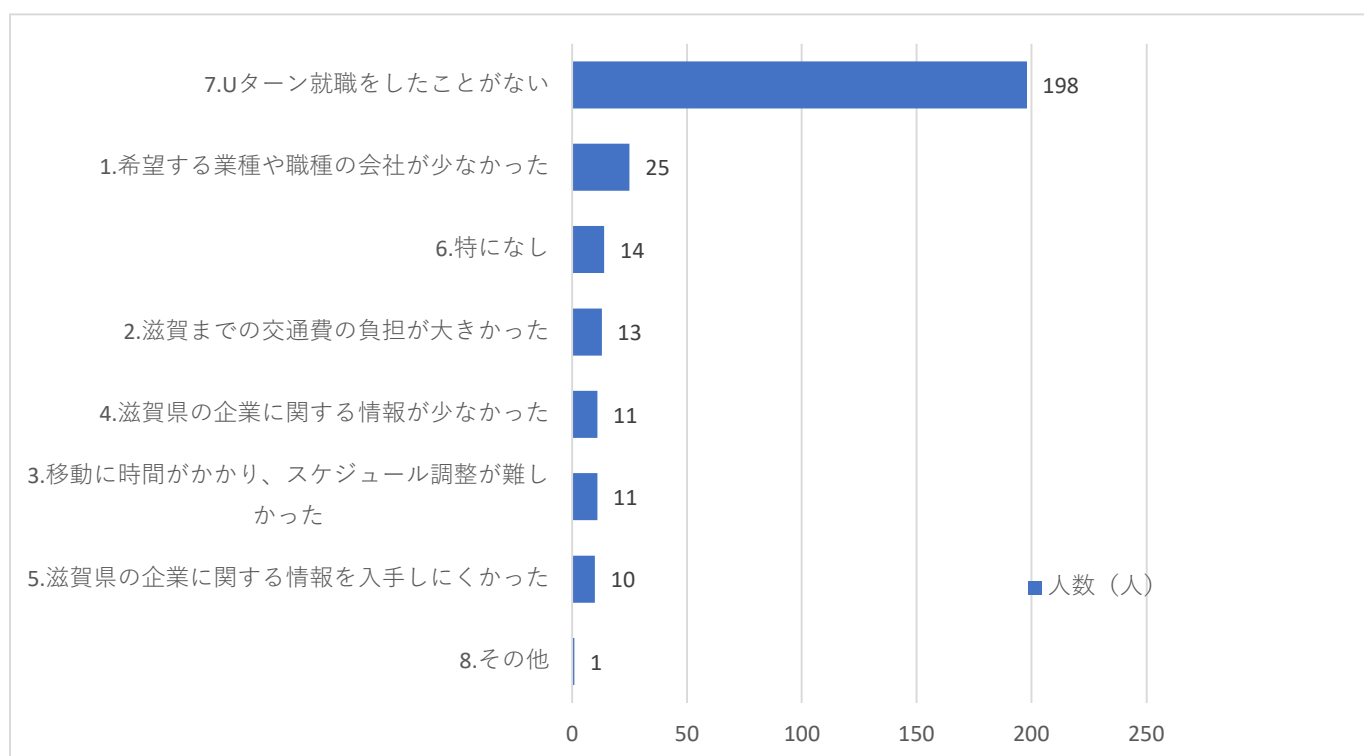
項目	人数(人)	割合(%)
1.希望する業種や職種の会社があるから	15	6.0%
2.自分に合ったスタイルで生活したいから	26	10.4%
3.両親や友人等の近くで生活したいから	30	12.0%
4.自然環境が豊かな土地で生活したいから	15	6.0%
5.滋賀の経済の活性化に貢献したいから	7	2.8%
6.通勤がしやすいから	9	3.6%
7.家庭の事情	13	5.2%
8.滋賀が好きだから	12	4.8%
9.Uターン就職をしたことがない	195	78.3%
10.その他	1	0.4%



### 問6 【Uターン就職に関する意識】

県内企業にUターン就職した経験がある方は、滋賀県へのUターン就職活動において障害に感じたことを選択してください。経験がない方は「7.Uターン就職をしたことがない」を選択してください。  
 (「7」を選択した場合以外、回答チェックはいくつでも。n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1.希望する業種や職種の会社が少なかった	25	10.0%
2.滋賀までの交通費の負担が大きかった	13	5.2%
3.移動に時間がかかり、スケジュール調整が難しかった	11	4.4%
4.滋賀県の企業に関する情報が少なかった	11	4.4%
5.滋賀県の企業に関する情報を入手しにくかった	10	4.0%
6.特になし	14	5.6%
7.Uターン就職をしたことがない	198	79.5%
8.その他	1	0.4%

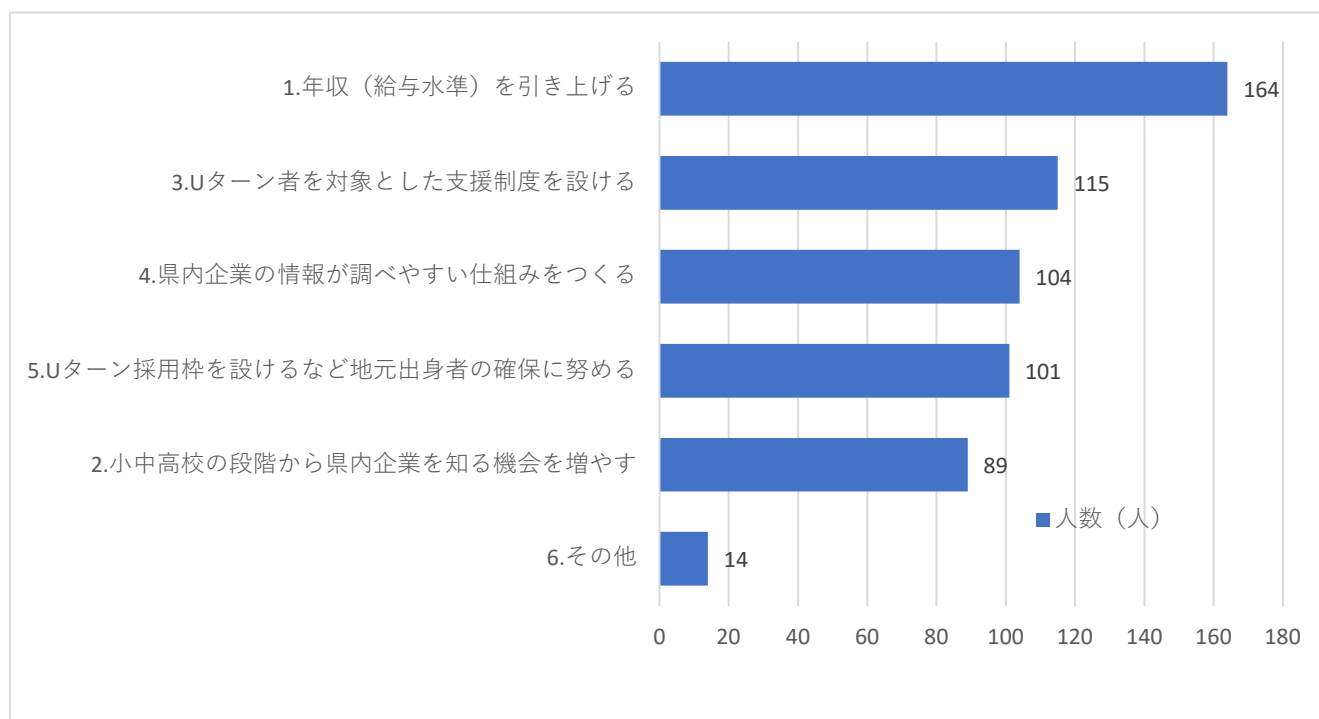


問7 【Uターン就職に関する意識】

滋賀県内へのUターン就職を増やすためにはどのようにしたらよいと思いますか。

(回答チェックはいくつでも。n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1.年収(給与水準)を引き上げる	164	65.9%
2.小中高校の段階から県内企業を知る機会を増やす	89	35.7%
3.Uターン者を対象とした支援制度を設ける	115	46.2%
4.県内企業の情報が調べやすい仕組みをつくる	104	41.8%
5.Uターン採用枠を設けるなど地元出身者の確保に努める	101	40.6%
6.その他	14	5.6%



問8 滋賀県の人口減少や、人口減少対策についてご意見等ありましたら記載してください。  
(抜粋・要旨)

- 人口減少対策でいつも優先されるのは、子育て支援。子供がいない身からすると、お金がかかることを分かって産んだのでは？という気持ち。子育て支援を広げると国や県にお金を頼る親ばかり増えるからやめてほしい。
- 人口減少は滋賀県では今の所発生してないが日本全体の人口が減少しているので無理に県内の人口減少に歯止めをかける必要はない。自然な減少傾向に任せておくべきである。
- 10代後半～20代前半で滋賀を離れ、30代で帰ってくるのは、今に始まったことではなく、滋賀の昔からのパターンであり、京都や大阪へ働きに行くというのは地理的に仕方ない部分があると思うので、子育て世代になって帰ってくる人がいるのであれば、20代の転出については、あまり気にする必要はないのではないかと思う。比較的若い方が多いエリアに住んでいるが、このエリアでも公共交通機関の本数が減っていることが非常に気になっている。高齢化していく中で、免許を早めに返納される方も増えてくると思うが、公共交通機関が充実していないと高齢の方がどこにも出かけられなくなっていく。車で移動することを前提とした街づくりから、転換するべきときがきているのではないかと思う。
- 大学の学部が限られ、選択肢が少ない。増やしてほしい。
- 人口減少により、地域の公共交通機関(特にバス)が減便・最悪廃止され、地域の足が損なわれていくことに危機感を覚えている。高齢化の進展も踏まえ、県としてオンデマンド交通の拡充等の新しい地域交通のあるべき姿を描き、市町村をリードする役割を期待する。
- 私の居住地は田畑が広範囲で宅地化され、他府県からの若い世帯移住者が増大している。人口に対して湖西線の車両の少なさ、便の少なさ、スーパーや飲食店の少なさを感じている。人口減少？ピンと来ない。
- 県南部では、交通の利便性などにより、人口が増加傾向にある。県北部は、人口減少傾向にある。この傾向を少しでも緩和する為に、県の施設の増強やイベントの開催(会議なども)を北部で実施する事で、人の流れを県北に誘導する工夫を行い、県北の人口減少を止める工夫をしてほしい。
- 益々交通の便が悪くなり、通勤、通学に時間がかかる。こだま新幹線を格安で通勤通学に利用出来るようにしてほしい。せめて、長浜駅まで在来線のJRを延線して欲しい。湖北では自動車が無ければ、どこにもいけない。免許証を返した後の老後が心配だ。
- 外国人住民が増えているので、人口減少を問題と感じない。また人が少ない方が、充実するサービスもあると考える。
- 人口減は地方だけではなく日本全体の傾向であり、ここは行政が危機感をもって取り組んでほしい。何と言っても国が中長期的な視点でもって早急に取り組むべき課題。経済

的支援も大事だがむしろ安心して家庭を築くことのできるきめ細かな制度設計が必要ではないか。

- 生活が多様化しているため、未婚者が増えており、且つ、少子化で人口減少が生じている。昔に比べ、子供一人に対する教育費等や生活費が増えており、結婚に対する不安から結婚しない人も多い。当然、結婚する人が増えなければ少子化も改善できない。子供に対する国の補助も必要であるが、結婚に対する施策も重要である。
- 南の方に人が集まる傾向があるから北にも人が集まるように県の施設を持ってきたり交通網を充実させるようにしてほしい。特に豊郷町は中途半端に北なので雪に関して融雪などのフォローが少ない。
- ある程度の人口減少は覚悟しなくてはいけない。希望するのは公共交通機関の充実と雇用環境の改善。非正規雇用では老親を養っていけない。
- 大学が県外へ行ってしまうと、就職先もほぼ県外へととなって県内企業をもっと知る機会を増やすべきだと思う。
- これまでの設問では触れられていなかったが、育児支援や婚活支援等の少子化対策も人口減少対策として重要な課題だと思う。滋賀県に限った話ではないが、結婚の願望はあるものの出会いの場がないと感じている(言い訳している?)若者が私の周りには多い。社会が複雑化し、多くの情報を仕入れなければならなくなったため自由な時間も減ってしまっていることが影響しているとも個人的には考えている。社会全体として就業時間が短くなれども自由時間は減ってしまっている現状がどうにかなってほしい。
- 生活し易い環境整備、県独自の子育て世代への支援対策、公共交通機関整備など、県だけではなく、市町村、地域住民、県内企業等を含めた協議、実行が必要と考える。
- 人口が減ることは、むしろ好ましいこと。IT化を活用する方向が、本来あるべき姿と、歴史の経緯に照らして思う。
- 子育てをしてる人やお年寄りにはどこも特化した政策や補助が考えられているが最近では独り身の人も増えているので働き世代の人にも意欲の湧く滋賀で暮らしたくなるような魅力ある事があればいいと思う。
- 日本の人口減少そのものはもう避けられない。そのため滋賀も同様の傾向と考える。魅力ある県を目指しても、他県も同様であり、そもそもの全体数が減っているから。その中でも県民が暮らし良くするためには、お金の使い方と入手の仕方を改善して欲しい。住民以外からも滋賀を好きになって支援してもらえるように、ふるさと納税(それに必要な特産品の充実)を提案したい。また全員が住み良い県を目指すと、中途半端になるため、方針として、どの世代を手厚くしたいのか、を方針づけすることで、滋賀を好きになってもらう人で構成される滋賀になり、県としては魅力が上がると思う。
- 滋賀県の人口減少にかかわらず、そもそも今の社会環境では人口が減る事自体、自然な事ではないだろうか？子供の数が減り、亡くなっていく人が多くなるなどの原因で、これからもどんどん人が減るのは間違いない。無理に人口を増やすのではなく、今の人口でできる政策を考える必要があるのではないだろうか？